

多摩区におけるSDCの理念及び具体的な取組内容のアイデアについて

宿題①

多摩区におけるSDCの理念（こうなったらいいなと思う10年後の地域の姿）について

- 1 多摩区の魅力が共有されるまち
- 2 多世代がつながり交流が盛んになるまち
- 3 SDGsが少しでも達成できるまち
- 4 バラバラがつながる
- 5 住みやすいまちになる
- 6 他地域から多摩区に引っ越して来なくなるまち
- 7 健康長寿のまち
- 8 多様な主体と多世代がつながる支え合いのまち

【5月9日までに提出された意見】

- 9 多摩区民のパワーを活かし育てる
- 10 子どもの笑い声が聞こえる街、多摩区
- 11 ここいい！ココチイ！たま「ゆりかごからエンディングまで安心安全に暮らせるまち」
- 12 多摩区を全国初の交通フリー（無料で区内を移動できる）地域にする
- 13 ①自ら必要な資源を獲得し、②結果を出す、コミュニティ活動をする

【昨年度ワークショップで提出された意見】※上記以外のもの

- 14 若い世代が戻ってきたいまち
- 15 仕事やスキルでつながるまち
- 16 社会的マイノリティが安心して住めるまち

宿題②

SDCの基本的機能を踏まえた具体的な取組内容について

【第2回検討会での意見】

- 1 地域の担い手や社会企業家などを「発掘」する

【5月9日までに提出された意見】

- 2 情報発信として区内の活動団体を分野ごとに紹介するあさおナビの様な冊子を作成する。
- 3 地域ごとに各施設（子ども関係施設・高齢者施設・障害者施設等）を運営している人や地区を所轄している地ケアの職員でネットワーク会議を開催し団体間の連携による補完や共同した課題の解決に当たる。
- 4 3 大学連携協議会を通して学生を募集し、地域課題解決の為にSDCを通して社会実験をする。
- 5 SDCからネット配信して課題に対して専門的知識や技術的支援をできる人を募りマッチングする。
- 6 担い手確保に向けた参加型イベント実施する
- 7 団体活動の広報・宣伝のできる場所を提供する
- 8 会議室などを貸す（紹介する）
- 9 団体が欲しい情報を提供する

- 10 人材を教育する
- 11 区民等に活動団体を紹介する
- 12 団体同士が交流する場を提供する
- 13 相談窓口
- 14 活動団体に資金を貸し与える
- 15 団体以外の区民への情報提供、区民と団体を結ぶ取組
- 16 SDC 自ら区の課題解決の取組を行う
- 17 各団体の情報を収集（受信）して整理し、発信する
- 18 ヒト、モノ・カネの相談からマッチングする
- 19 市民団体や社会福祉法人などへのまちのひろばの設置コンサルティング（費用発生型、無償型をそろえる）
- 20 こすぎの大学のような人材育成
- 21 人材育成（高校生から育てて大学生でかつどうできるように）
- 22 大学生向けの活動団体セレクション
- 23 調査の実施
- 24 他地区、行政などへの色々な申込窓口
- 25 地域活動インセンティブの向上
有償ボランティア（個人）の優遇政策（例えば支援サービスの優先利用や非課税など）を提案し、市行政と交渉する
- 26 居住者コミュニティの希薄化対応
多摩区の状況に適し適合した居住者の相互支援のあり方を検討する
- 27 有償化の難しい市民活動への支援
人件費を除く経費支援など
- 28 登録団体支援
- 29 大学・研究機関・企業と検証・実証実験など
- 30 支援・情報が行き渡っていない層への取組
- 31 ヒトに到達し、ヒトを巻き込む活動
- 32 ヒトを成長させる活動

【昨年度ワークショップで出された意見】 ※上記以外のもの

- 33 学生たちの活動発表の場の提供
- 34 まちのひろばの紹介
- 35 夢の実現のサポート
- 36 外出できない人が意見を言える環境づくり（タブレット貸出、オンラインで意見交換できる場の提供）

※基本的機能を踏まえた具体的な取組内容（サービス等のメニュー）以外で出された意見

- 37 まめに事業の検証を行い、発展に努める
- 38 運営主体自らも学び、研鑽に励む
- 39 区民や団体の課題の解決に向けて、真摯に取り組む
- 40 情報の共有と話し合いを大切にする
- 41 公平、公正、中立を旨とし、区民の信頼に応える
- 42 地域活動団体、個人の事業と競合したり、妨害したりしない
- 43 特定の団体や個人の利益に供与することをしない

(参考) 基本的考え方で示されている SDC の基本的な機能

- ①人や団体・企業、資源・活動をつなぐコーディネート機能とプロデュース機能
- ②支援のニーズ（活動支援、資金助成、相談、情報収集）とメニューの効果的なマッチング
- ③地域課題の解決を目指した社会実験の展開
- ④地域からの視点や市民の立場に立って、助言や専門的知識を活かした技術的支援、課題提起等を行う機能
- ⑤人材育成（地域の担い手や社会的起業家など）
- ⑥「まちのひろば」への支援
- ⑦地域メディアやソーシャルメディアを活用した情報の受発信
- ⑧新たな参加、交流のきっかけづくり
- ⑨各区の特性に応じて必要とされる機能など 等